

「職業人と語ろう」①

私は、「新聞記者」という職業の体験をして、2つのことを学びました。1つ目は、記事の作り方や新聞が読者に届くまでの大まかな流れなどです。2つ目は、だれでも読みやすいように5W1Hを大事にしていることです。私は、新聞に様々な工夫がされていると知ったので、もっとたくさんの人に新聞を読んでほしいと思いました。

私は「新聞記者」の職業体験をして、記者の方々がどんなに大変なのか学びました。記者の一日のスケジュールはとてもしばいことを知りました。カメラやパソコンにもなれていないといけなかったりただ書くだけなどだったらダメなことを知りました。毎日一生けん命様々な工夫がされているので新聞の面白さを知ってほしいと思いました。

私は、この仕事を体験して文章の構成について学びました。くわしいことは後の方にのってほしいのことは前の方に簡潔にのっているということ、5W1Hに気を付けて書いてあるということです。作文を書くときにも5W1Hに注意して書いてみたいと思いました。

「職業人と語ろう」②

私は「職業人と語ろう」という学習で新聞記者を体験しました。神戸新聞の方が来てくださり、持ち物や新聞の書き方を教わりました。また一日のスケジュールを見ると休みがなく大変だなと思いました。実際に取材をしてみると何を伝えたらいいかがまとめられませんでした。また教わったことを思い出して新聞を見てみたいですね。

私は職業人の方から小さい中学校に来て下さり、職業の体験をしました。新聞記者の仕事体験をしたり、新聞記者の持っている物を見ることができました。新聞の記事をまとめるのは難しかったけど、新聞の作り方を知ることができました。

新聞記者さんは忙しい中職業人と語ろうで、写ることや体験をたくさん教えてもらって新聞記者さん。一日のスケジュールは大変ということが分かった。記事をつくる時のパソコンを打つ速さなど、新聞記者になるにはいろいろな技術が必要ということも分かりました。ということも思いました。

「職業人と語ろう」③

あまり、新聞記者という仕事に興味を持っていないからだけれど「職業人と語ろう」を通して、新ためて、新聞のニュースに向きあってみようかなと思いました。そして、学校のみならず新聞を広めてみようと思いました。

「職業人と語ろう」という体験学習を通して、新聞を少し読んでみると、記事をかいた人の思いが詰まっていることに気付きました。なので、これからも進んで読んでいきたいらなと思いました。そして、新聞というメディアについてみんながもっと知ってほしいと思いました。

ほくは、門田さんの学習をやるまではあまり新聞を読まなかつたけれど、新聞の簡単な見方を教えた上で、新聞に対して興味を持ちました。そして実際に新聞を読んでみました。読んでみるととてもわかりやすく、ニュースでは分からないことがみんな分かるので世間にくれしくなつたと思いました。くれぐらは、たくさん新聞を読みたいです。

「職業人と語ろう」④

私は新聞記者の仕事を体験してみ、一回の取材にたくさんやることあるのがわかりました。私たちが情報を得られているのは、新聞記者の方が取材をして見やすくわかりやすいように記事にしているからだと思います。いつも私たちの暮らしを楽しくたきりありがとうございます。

ぼくは「職業人と語ろう」で新聞記者の仕事を体験してみ、いつも取材のときに、カメラで取ったり記事を書いたりとすごく面白いと思うけど、一人一人が努力をして新聞は、だれにでも見やすくなる人だなと思いました。これからは、この新聞を活かして生活に役立っていきたくらいなと思いました。

私はこの新聞記者の仕事を体験して、一番印象に残った事は「大変そう...だけどやりがいがある、楽しそう！」という事です。様々な取材、記事の作成を通して、一つの新聞が出来ていて、そのおかげで、私達は情報を手に入れている。と思うと、これまで以上に、関心をもって、新聞に接してみよう。と思うきっかけになりました。